

いしがき



令和2年度 宇城市立小野部田小学校
学校便り 第4号
文責：校長 川端 保成
ホームページ <http://es.higo.ed.jp/onoheta/>

緊急時児童引き渡し訓練を実施しました

～梅雨や災害級の大雨に注意～

九州だけでなく、全国的に見てもここ数年で大雨等による被害が頻繁に発生しています。昨年は8月に、長崎や佐賀・福岡にまたがる九州北部豪雨が、また、9月には台風15号と19号が連続して関東地方に甚大な被害を与えたことは、記憶にも新しいところです。



今後も線状降水帯に伴う短時間での大雨や、大型台風による被害等も十分予測されます。

ここ小野部田地区も土石流警戒区域や、稚児川流域の氾濫等が懸念されており、

その多くで子どもたちの通学路にも重なる部分があるなど、子どもたちの安全確保について、大変心配される状況があります。

そこで、平成23年3月に発生した東日本大震災後に、子どもたちを確実に、かつ安全に保護者へ引き渡すよう、事前に学校と保護者の間でルールを決めておくことと、その方法を定期的に訓練しておくことが大切であると、文科省からの手引きに明記されました。

～6月24日、訓練実施しました～

本校では初となる訓練を実施しました。梅雨の真っ最中のはずでしたが、当日は30℃を超える真夏日となりました。

子どもたちはまず、地震の想定で各教室から体育館へと一旦避難しました。その後、各ご家庭から次々に学校へ来校されました。おじいちゃんやおばあちゃんのご家庭もありましたが、各担任が事前に登録された方々のカードを確認しながら、確実に引き渡す事が出来ました。

実際の災害時には、担任が対応できないことや、夜まで引き取りに来ることが出来ない場合等も想定されます。ご面倒ですが、各ご家庭の登録者毎にカードを携帯していただきますよう、よろしくお願いします。暑い中、ありがとうございます。



「心のきずなを深める月間」の取組



毎年6月は「心のきずなを深める月間」の取組として、熊本県下の全小・中・高校で教育相談を行っています。子どもたちには事前にアンケートに答えてもらい、最近困ったことや嫌なこと、心配な事などを、各担任でいねいに聞き取っていきます。いじめや不登校の未然解消を積極的に行うよう、この時期に行われています。

昨年度の調査では、「いじめられたことがある」と答えた本校の約15%の児童全員が「いじめは解消した」と答えています。また、「いじめはどんな理由があってもいけないこと」と、約92%の児童が答えています。

今年も「笑顔があふれる学校」であるよう、子どもたちと先生方、保護者の方々と力を合わせて、取り組んで生ければと思います。

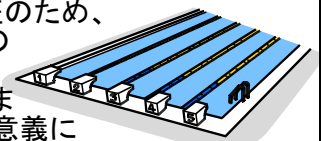
6月23日、総務委員会が今年も「心のきずなを深める5か条」を全校に向けて提言してくれました。今年の第5条は「助け合い、みんなと笑顔を増やそう」です。子どもたち自らが、「どうすればみんな楽しく学校生活を過ごすことが出来るか」と考えて働きかけてくれます。

私たち大人も、悩みを相談できる誰かがそばにいてくれるだけで、心強く、「また明日から頑張ろう」と思えたりもします。このコロナ禍において、今年は夏休みも短く、子どもたちも何らかのストレスや不安を感じているはずで、私たち大人がもっと、子どもたちの何気ない振舞や、ふとした言葉から、察知するしかないのだと思います。各ご家庭と力を合わせて、見守る必要があります。

7月の行事予定

- 3日 授業参観 (中止)
- 11日 宇城PTAミニバレー大会 (中止)
- 14日 心臓検診
- 17日 校内水泳大会、着衣泳 (中止)
- 21日 夏休み (8月5日から延期)

夏休みは学力保証のため、8/5～8/18までの14日間となります。例年の半分しかありませんが、各家庭で有意義に過ごせますよう、よろしくお願いいたします。



※ 小野部田小学校のホームページに、「日々のつぶやき」として、学校生活のとある場面や、ちょっとしたエピソードなど、随時アップさせて頂いておりますので、ぜひご覧ください。